

## 第6 世帯の就業状態

### 1 世帯主の就業状態、年齢階級別世帯数

「世帯主が有業」の世帯は、「45～54歳」が124万1千世帯と最も多い

「世帯主が無業」の世帯は、「65歳以上」が154万7千世帯と最も多い

「世帯主が有業」の世帯は530万5千世帯で、平成29年と比べると30万3千世帯増加している。

年齢階級別にみると、「45～54歳」124万1千世帯が最も多く、次いで「25～34歳」108万1千世帯、「35～44歳」108万世帯となっている。平成29年と比べると「55～64歳」17万5千世帯の増加が最も多く、次いで「25～34歳」10万世帯、「45～54歳」8万世帯の増加となっている。

また、「世帯主が無業」の世帯は200万1千世帯で、平成29年と比べると7万6千世帯増加している。

年齢階級別にみると、「65歳以上」154万7千世帯が最も多く、次いで「55～64歳」15万世帯、「15～24歳」10万2千世帯となっている。平成29年と比べると「65歳以上」9万3千世帯の増加が最も多く、次いで「45～54歳」2万世帯、「55～64歳」1千世帯の増加となっている。

(表6-1、地域編第136-1表)

表6-1 世帯主の就業状態、年齢階級別世帯数

(単位 千世帯)

	令和4年			平成29年			増減数		
	総数	世帯主が有業	世帯主が無業	総数	世帯主が有業	世帯主が無業	総数	世帯主が有業	世帯主が無業
総数	7,417	5,305	2,001	6,974	5,001	1,926	443	303	76
15～24歳	410	308	102	412	276	136	△2	32	△34
25～34歳	1,138	1,081	57	1,038	981	57	101	100	0
35～44歳	1,132	1,080	52	1,222	1,164	58	△90	△84	△6
45～54歳	1,335	1,241	94	1,234	1,161	73	101	80	20
55～64歳	1,085	936	150	909	761	149	176	175	1
65歳以上	2,206	659	1,547	2,111	658	1,453	94	1	93

## 2 世帯主の就業状態別世帯所得

「世帯主が有業」の世帯所得は500万円以上が半数以上

「世帯主が無業」の世帯所得は300万円未満が半数以上

世帯所得を世帯主の就業状態別にみると、「世帯主が有業」の世帯では、世帯所得が「1,000万円以上」122万4千世帯（構成比23.1%）が最も多く、次いで「500～699万円」91万7千世帯（同17.3%）、「700～999万円」91万4千世帯（同17.2%）となっており、500万円以上の世帯が半数以上を占めている。

また、「世帯主が無業」の世帯では、世帯所得が「200万円未満」80万8千世帯（同40.3%）が最も多く、次いで「200～299万円」33万1千世帯（同16.5%）となっており、300万円未満の世帯が半数以上を占めている。

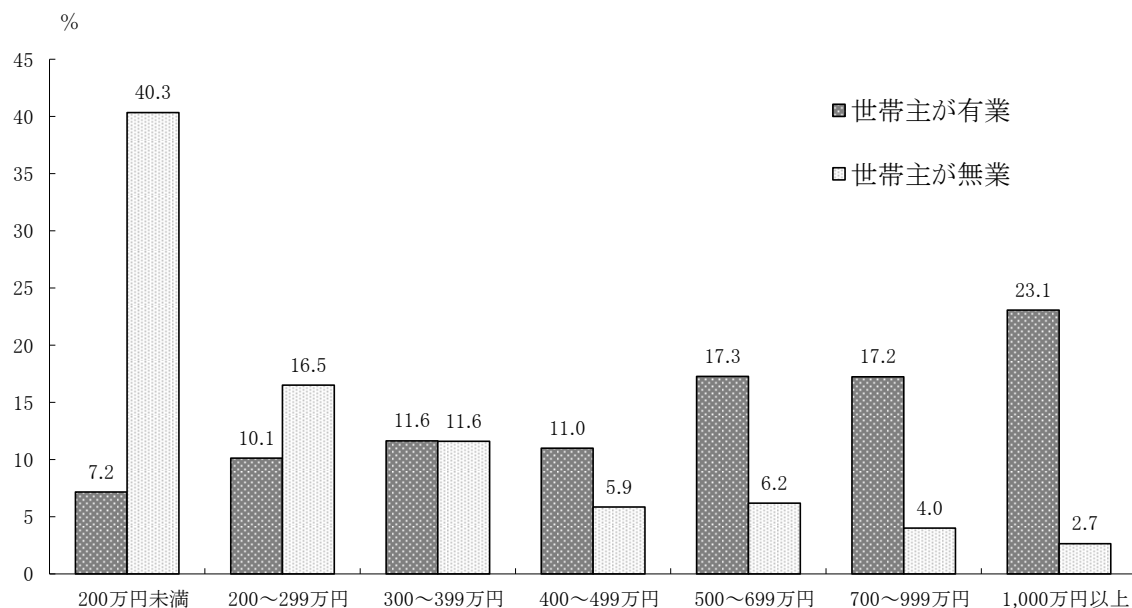
（表6-2、図6-1、地域編第137表）

表6-2 世帯主の就業状態、世帯所得別世帯数

（単位 千世帯、%）

区 分	世帯数			構成比		
	総数	世帯主が有業	世帯主が無業	総数	世帯主が有業	世帯主が無業
総数	7,417	5,305	2,001	100.0	100.0	100.0
200万円未満	1,188	380	808	16.0	7.2	40.3
200～299万円	868	538	331	11.7	10.1	16.5
300～399万円	850	617	232	11.5	11.6	11.6
400～499万円	702	584	117	9.5	11.0	5.9
500～699万円	1,042	917	124	14.0	17.3	6.2
700～999万円	995	914	80	13.4	17.2	4.0
1,000万円以上	1,278	1,224	53	17.2	23.1	2.7

図6-1 世帯主の就業状態による世帯所得の分布



### 3 家族類型別世帯所得

#### 一般世帯の世帯所得 500 万円以上が 6 割以上

#### 単身世帯の世帯所得 400 万円未満が 5 割を超えている

一般世帯（住居と生計をともにしている二人以上の集まり）を世帯所得別にみると、「1,000 万円以上」110 万 7 千世帯（構成比 28.7%）が最も多く、次いで「700～999 万円」74 万 3 千世帯（同 19.2%）、「500～699 万円」56 万 8 千世帯（同 14.7%）となっており、500 万円以上の世帯が 6 割以上を占めている。

一般世帯を家族類型別にみると、「夫婦のみの世帯」では、「1,000 万円以上」26 万 4 千世帯が最も多く、次いで「300～399 万円」17 万 9 千世帯となっており、「夫婦と子供から成る世帯」では、「1,000 万円以上」60 万 3 千世帯が最も多く、次いで「700～999 万円」35 万 9 千世帯となっている。

また、単身世帯では、「200 万円未満」93 万 6 千世帯（同 26.3%）が最も多く、次いで「200～299 万円」58 万 2 千世帯（同 16.4%）、「300～399 万円」48 万 6 千世帯（同 13.7%）となっており、400 万円未満の世帯が 5 割を超えている。

（表 6-3、図 6-2、地域編第 138 表）

表6-3 世帯の家族類型、世帯所得別世帯数

（単位 千世帯、%）

区分	総数	一般世帯	家族類型		単身世帯	構成比		
			うち夫婦のみの世帯	うち夫婦と子供から成る世帯		総数	一般世帯	単身世帯
総数	7,417	3,861	1,193	1,379	3,556	100.0	100.0	100.0
200万円未満	1,188	253	90	21	936	16.0	6.5	26.3
200～299万円	868	286	134	32	582	11.7	7.4	16.4
300～399万円	850	364	179	63	486	11.5	9.4	13.7
400～499万円	702	287	110	71	415	9.5	7.4	11.7
500～699万円	1,042	568	158	210	473	14.0	14.7	13.3
700～999万円	995	743	174	359	252	13.4	19.2	7.1
1,000万円以上	1,278	1,107	264	603	172	17.2	28.7	4.8

